



## 2025年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年2月5日

上場会社名 株式会社MCJ

上場取引所 東

コード番号 6670 URL <https://www.mcj.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼最高経営責任者 (氏名) 高島 勇二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼最高財務責任者 (氏名) 石戸 謙二

TEL 03-6739-3403

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	147,557	9.5	14,624	11.8	14,882	12.3	10,606	10.1
2024年3月期第3四半期	134,740	4.9	13,081	23.7	13,249	27.3	9,632	32.2

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 11,316百万円 (17.0%) 2024年3月期第3四半期 13,632百万円 (35.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	107.94	
2024年3月期第3四半期	98.04	

1株当たり四半期純利益は、株式給付信託が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めて算出しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	125,500	85,030	67.6
2024年3月期	120,727	79,346	65.6

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 84,846百万円 2024年3月期 79,180百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		57.00	57.00
2025年3月期		0.00			
2025年3月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2024年3月期期末配当金の内訳 普通配当37円00銭 記念配当20円00銭

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	196,600	4.9	18,300	6.4	18,000	5.3	12,700	4.1	129.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	101,774,700 株	2024年3月期	101,774,700 株
期末自己株式数	2025年3月期3Q	3,515,759 株	2024年3月期	3,515,671 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	98,258,974 株	2024年3月期3Q	98,259,029 株

期末自己株式数には、株式給付信託が保有する当社株式が、2024年3月期546,100株、2025年3月期3Q546,100株含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数には、株式給付信託が保有する当社株式が、2024年3月期3Q546,100株、2025年3月期3Q546,100株含まれております。

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3頁「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、TDnet及び当社ホームページに同時に掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### <連結経営成績の概要>

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の回復に不透明感が残るものの、第1次所得収支の高止まりや、輸出総額の拡大継続、訪日外国人旅行者数が過去最高水準で推移する等により、引き続き経常収支が過去最大の黒字水準で推移する等、一部では明るい兆しが見られております。このように穏やかな景気回復が期待されるものの、世界各国における政治・経済動向並びに中央銀行による金融政策の影響等を受け、金融市場のボラティリティーが高まる場面が増えるとともに、円安傾向の定着や物価上昇に伴う生活コストの上昇等が足元及び今後の経済情勢の見通しの不透明感を引き続き高めており、予断を許さない状況が継続しております。

当社グループの属するパソコン市場は、2021年3月期以降大きなマイナス基調で推移し、2024年3月期までの間に出荷台数ベースでの市場規模が半減する等、非常に厳しい状況が継続してまいりましたが、今期より需要の回復フェーズに入ったため、当第3四半期連結累計期間における出荷台数は前年同期比で19.7%の増加となり、期初からの堅調な需要動向が継続しております。また、パソコンの高性能化や円安傾向の継続等に伴うパソコン製造に係る原材料・部材価格の高止まりの影響も受けた結果、出荷金額は22.3%増加となり、価格面でも前年度を上回りました。

また、当社グループが事業展開を行う欧州各国及び東南アジア各国においては、主要国における政治動向やロシア・ウクライナ問題の長期化、中東情勢の緊張の高まり等により、一部の地域において景気回復に停滞感が見られます。これらの先行き不透明感から現地企業の設備投資や個人消費の抑制が続いており、前年度と同様に不安定な状況が継続しております。

このような状況下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は147,557百万円（前年同期比9.5%増）、営業利益は14,624百万円（同11.8%増）、経常利益は14,882百万円（同12.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10,606百万円（同10.1%増）と増収増益となり、売上高及び各利益において過去最高を更新いたしました。

なお、第1四半期連結累計期間において保有資産の売却を実施しており、一時的な収益が発生しております。当該資産売却の影響を除く実質ベースの数値においても前年同期比増収増益であり、当第3四半期連結累計期間における売上高及び各利益ともに過去最高を更新しております。

セグメントごとの業績は次のとおりです。

#### ① パソコン関連事業

一般用途向けの普及モデルパソコン、高付加価値・特化型製品であるクリエイター向けパソコンやゲーミングパソコン等のBT0（受注生産）パソコン及び完成品パソコンの製造・販売、「iiyama」ブランドによる汎用モニタ、デジタルサイネージ、タッチパネルの欧州における販売を行っております。コロナ禍以降において変化しつつあるマーケットニーズを的確に汲み取り、また近年においてはAI関連ニーズ等に合致した新製品・新サービスの投入を行う等、積極的に事業を展開してまいりました。

国内パソコン関連事業におきましては、需要の回復が見られる一方で、過度な円安に伴う調達価格の高騰が継続する中、販売価格を慎重に設定しつつ利益を伴う売上規模の維持及び拡大を目指し、特に需要の高い製品セグメントに注力した製品展開及び営業施策を展開いたしました。その様な中、マウスコンピューター及びユニットCOMの業績が好調に推移した結果、前年同期比で増収増益を達成しております。

海外パソコン関連事業におきましては、欧州及び東南アジアにおける事業環境は引き続き不透明な状況が継続しているものの、現地におけるニーズに迅速に対応した製品・サービス投入等を行った結果、欧州モニタ事業、東南アジア事業ともに前年同期比で増収増益となり順調に推移しております。

以上の結果、当事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は142,752百万円（前年同期比9.4%増）、営業利益は14,182百万円（同10.7%増）となり、第3四半期連結累計期間における本セグメントの業績としては売上高及び営業利益ともに過去最高を更新いたしました。

なお、保有資産売却の影響を除く実質ベースにおいても、売上高は141,047百万円（前年同期比8.1%増）、営業利益は13,502百万円（同5.4%増）であり、前年同期比増収増益にて推移しております。

## ② 総合エンターテインメント事業

「aprecio」ブランドで複合カフェ店舗の運営や「MIRA fitness」ブランドによる24時間フィットネスジムの運営等を行っております。コロナ禍において実施した各種コストカット施策等の構造改革の効果や、積極的な営業施策によるネットカフェ事業の営業黒字定着及び拡大に加え、コロナ禍以降当該セグメントの業績を牽引している24時間フィットネス事業が引き続き好調を維持したことから、当事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は4,821百万円（前年同期比13.7%増）、営業利益は644百万円（同39.7%増）となり、第3四半期連結累計期間における本セグメントの業績としては売上高及び営業利益ともに過去最高を更新いたしました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は125,500百万円となり、前連結会計年度末と比べて4,772百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金、受取手形及び売掛金、流動資産のその他に含めて表示している未収消費税等が減少したものの、棚卸資産が増加したこと等によるものであります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は40,469百万円となり、前連結会計年度末と比べて911百万円の減少となりました。これは主に、買掛金等の営業債務が増加したものの、短期借入金、未払法人税等、長期借入金が増加したこと等によるものであります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は85,030百万円となり、前連結会計年度末と比べて5,684百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金や為替換算調整勘定が増加したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、予想される市場動向や営業の状況、パソコン製造に係る原材料・部材調達に係る不透明感等の影響があるものの、2024年5月14日に公表いたしました2025年3月期の連結業績予想数値に対し概ね順調に進捗しており、業績予想の修正を必要としない範囲で推移しております。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示してまいります。

当社グループは、2022年5月13日に2025年3月期を最終年度とする中期経営計画を公表いたしました。当該中期経営計画において、2022年3月期に増収の一方で減益となった既存事業の収益立て直しへの注力、また事業の更なる拡大を見据えた成長基盤の整備、並びに新たな収益の柱を構築するべく既存事業関連及び新規事業の両分野におけるM&Aやアライアンスを積極的に模索するという、3つの成長戦略の方向性を掲げており、中期経営計画2年目である2024年3月期には各利益が過去最高を更新いたしました。今期においても期初予想通り過去最高益の更新を目指してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	48,522	46,404
受取手形及び売掛金	22,814	21,292
商品及び製品	21,032	25,904
仕掛品	321	417
原材料及び貯蔵品	9,311	14,160
その他	4,067	2,847
貸倒引当金	△24	△24
流動資産合計	106,046	111,002
固定資産		
有形固定資産	9,200	9,318
無形固定資産		
のれん	288	268
その他	1,093	1,076
無形固定資産合計	1,381	1,344
投資その他の資産		
その他	4,151	3,870
貸倒引当金	△51	△35
投資その他の資産合計	4,099	3,835
固定資産合計	14,681	14,498
資産合計	120,727	125,500
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	11,537	14,053
短期借入金	8,436	7,583
未払法人税等	1,749	1,498
契約負債	3,220	3,022
製品保証引当金	1,234	1,448
役員株式給付引当金	-	251
その他の引当金	424	265
その他	6,179	6,278
流動負債合計	32,782	34,402
固定負債		
長期借入金	6,535	4,301
退職給付に係る負債	328	328
役員株式給付引当金	251	-
その他	1,482	1,437
固定負債合計	8,599	6,067
負債合計	41,381	40,469

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,868	3,868
資本剰余金	9,333	9,333
利益剰余金	60,941	65,915
自己株式	△830	△830
株主資本合計	73,312	78,286
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30	30
為替換算調整勘定	5,820	6,516
退職給付に係る調整累計額	17	13
その他の包括利益累計額合計	5,868	6,560
非支配株主持分	165	184
純資産合計	79,346	85,030
負債純資産合計	120,727	125,500

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	134,740	147,557
売上原価	100,656	109,881
売上総利益	34,084	37,675
販売費及び一般管理費	21,002	23,050
営業利益	13,081	14,624
営業外収益		
受取利息	403	831
負ののれん償却額	13	13
受取手数料	32	24
その他	59	61
営業外収益合計	507	931
営業外費用		
支払利息	183	251
為替差損	96	325
支払手数料	20	27
投資有価証券評価損	25	40
その他	13	29
営業外費用合計	339	674
経常利益	13,249	14,882
特別利益		
固定資産売却益	4	6
投資有価証券売却益	164	-
特別利益合計	168	6
特別損失		
固定資産売却損	-	0
固定資産除却損	0	25
賃貸借契約解約損	8	-
事務所移転費用	2	11
事務所撤退費用	14	0
その他	0	-
特別損失合計	25	36
税金等調整前四半期純利益	13,393	14,851
法人税、住民税及び事業税	3,471	3,996
法人税等調整額	181	228
法人税等合計	3,652	4,225
四半期純利益	9,740	10,626
非支配株主に帰属する四半期純利益	107	19
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,632	10,606



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	9,740	10,626
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△80	-
為替換算調整勘定	3,977	695
退職給付に係る調整額	△4	△4
その他の包括利益合計	3,892	690
四半期包括利益	13,632	11,316
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,402	11,297
非支配株主に係る四半期包括利益	230	19

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パソコン 関連事業	総合エンターテイ ンメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	130,499	4,240	134,740	—	134,740
セグメント間の内部 売上高又は振替高	20	—	20	△20	—
計	130,520	4,240	134,760	△20	134,740
セグメント利益	12,808	461	13,269	△188	13,081

(注) 1. セグメント利益の調整額△188百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△734百万円、セグメント間取引消去等545百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パソコン 関連事業	総合エンターテイ ンメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	142,735	4,821	147,557	—	147,557
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16	—	16	△16	—
計	142,752	4,821	147,573	△16	147,557
セグメント利益	14,182	644	14,827	△202	14,624

(注) 1. セグメント利益の調整額△202百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△796百万円、セグメント間取引消去等594百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	834百万円	910百万円
のれんの償却額	33百万円	33百万円
負ののれんの償却額	△13百万円	△13百万円